

奈良・人と自然の会

地球温暖化そのII

川井 秀夫



前号で温暖化のメカニズムについて、ごく簡単に申し述べましたが、もし地球が岩石の塊とすると、太陽熱は全て宇宙空間に逃げていきます。月と同じように平均気温は -18°C まで下がり凍てつく氷の世界になります。(月は昼間 150°C 夜間 -150°)

しかし地球には大気が存在し、温室効果ガスにより生物が生きて行く為の守り神の役割を果たしてくれています。ところが拡大する人間活動により人工的な温室効果ガスが大量に増え、温室効果が強まり気候変動を助長し、地球上の生命維持装置が悲鳴を上げ始めているのです。

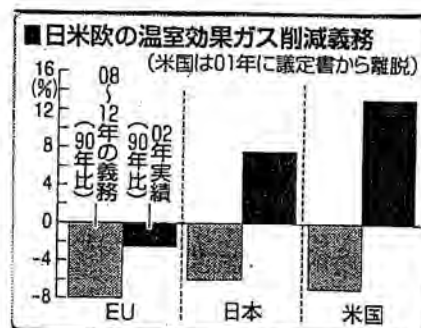
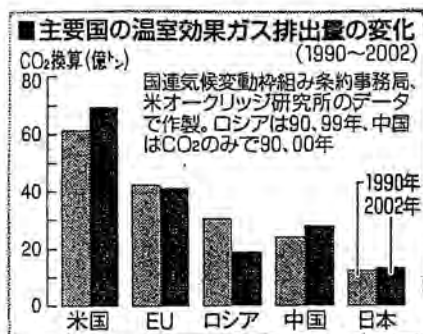
今回の議定書発効は、地球圏を食い物にする人間圏の傲慢なエゴイズムに対する警鐘にほかなりませんが、米・豪の離脱、中国・インド等途上国の協調が得られないままでは2012年に掲げる排出ガス抑制の数値目標達成には不安が残ります。

各国の政治的な思惑、なかんずく経済面における利害得失、国と国、企業と企業との排出権取引、南北問題 等々国家レベルでの難問があることも大きな障害だと思います。

われわれ一市民として、国際的な問題を動かす力はありませんが、地球環境問題は「いつか」「どこかで」といった希薄な意識しかないのも現実の姿ではないでしょうか。

私は、環境問題とは全て人間の問題だと考えます。一人一人が精神とライフスタイルを変革し、人間活動における生き方、考え方を問い直す『人間の治療』が必要な時機に来たと実感しております。

少し主題からそれました。主要国の温室効果ガスの変化と削減義務を掲げました。我々の日常生活の中で何ができるのか、何をすべきかマクロ指標を元に次号の『エネルギー』のテーマで考えます。



訂正 前号 100年後の地球の平均気温 1.4°C 上昇としましたが、研究者のシュミレーションは色々あり 1.4°C ~ 5.8°C と、予測値に幅があります。

2月9日(水)

春を先取りしたような好天に恵まれたこの日、例会に参加するのは久しぶり。自然観察の中で一番好きな「野鳥観察会」、しかも今回は山の辺の道。どんな野鳥達にあえるのか？否が応でも期待で胸が膨らむ。

「野鳥観察会」は、崇神天皇陵のお堀の水鳥観察から始まった。噂のとおり、無数のオシドリが水面を覆っている。暫しオスの美しさに魅了される。やはりお堀の主役の座は確固たるもの。ほかにウヤマガモ、カイツブリ、バンなど思い思いに冬の短い陽射しを楽しんでいる様子。

今日は天気が良く、気温も3月下旬並。野鳥達も活発に動きまわって、移動する毎に次々に愛らしい姿を見せてくれている。ハクセキレイやキセキレイ、モズ、ツグミ、ケリそれにニューナイスズメ等々。おなじみのレギュラーメンバー達と顔合わせを終えると、もう昼食の時間。

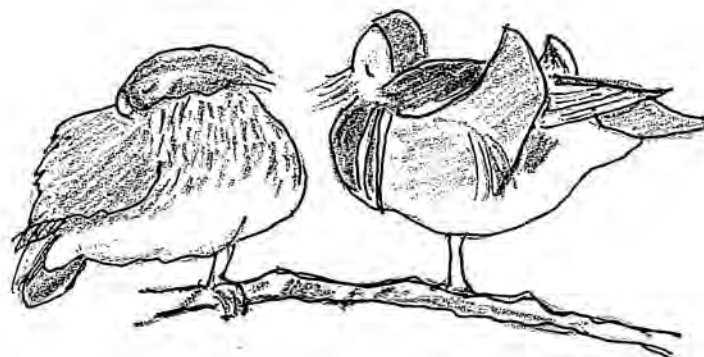
昼食後、観察会の再開。しばらくすると、カラスの一团に追われるオオタカを発見。カラスよりもひと回りも体の小さなオオタカだけれど、機を見て反撃に転じるオオタカに思わず歓声があがる。獲物の捕りあいでもしているのだろうか？

しばらくは、山の辺の里の風景を堪能しながら歩く。まだまだ梅のつぼみは堅い。色のない里の春の訪れを一番に伝えてくれるのだろう。その時をじっと待っているような健気な様子が、心をほっこりとさせてくれる。

山の辺の道を南へ進みながら途中何度となく立ち止りウオッチング。終点を大神神社と定めこの日の日程は終了。

この日山の辺の道を歩いた私たちが、目にしたり声を聞いたりした野鳥の数は30種類を超えた。

鳥は場所を選ばず、私たちが関心を持って観るとどこでも観る事が出来る。逆に、気にしてみないとその存在すら忘れてしまう。人が関心を示そうがどうかなど関係なく、彼らは引き継いだ命を懸命に生きている。

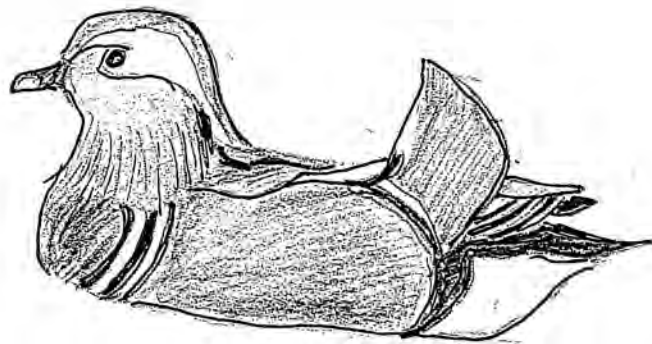


オシドリオシドリ

長野 晃

愛しい（オシイ＝かわいい）鳥というのが語源らしいですが、まさにその名のとおり美しき可愛さで右に出るものは少ないでしょう。2月の例会でもじっくり観察出来たので皆さんの臉にもまだその美しさが焼きついたままだと思います。奈良には毎冬千五百～二千羽渡って来ますが、今年は特に多く、いま近くの垂仁天皇陵にも数年ぶりに100羽以上が入っています。オシドリは身近にみられる淡水ガモの中では異色の存在で、マガモ、カルガモヒ、ドリガモなど約10種がひとつのグループ（属名 *Anas*＝鴨の意）であるのに対し、ひとり別属（属名 *Aix*＝山羊の意）です。*Anas* 属が主に水生植物を食べ水辺に営巣するのにに対しオシドリはどんぐり類をもよく食べ、営巣は樹洞を利用します。また、*Anas* では絶対に見られないことですが、高木の枝にも止まります。*Anas* と比べ水掻きが軟らかいのだそうです。*Aix* は世界広しといえどオシドリと北米大陸の東半分に生息するアメリカオシドリの2種を数えるに過ぎません。アメリカオシドリの英語名はいみじくも Wood Duck です。（オシドリは分布地からの命名で Mandarin Duck 「中国のカモ」。）

オシドリでちょっと気になるのは、あの独特の帆掛け舟の帆のような「銀杏羽」（または「思い羽」）でしょう。あの羽は飛んでいる時には身体にぴったりついて飛翔の妨げにならないように出来ているのですが、どういう仕組みなのか実際に見るのは至難の技でしょう。一日覚悟で動物園の檻の前に陣取って羽をバタバタさせるまで「じっと我慢の子」を決め込むほかありませんね。ちなみに、アメリカオシドリには銀杏羽はありません。もうひとつ、極東アジア以外でオシドリがいるのは唯一英国のみです。なぜそういう分布をしているのか長年の謎でしたが数年前、英国の友人が教えてくれたところによると、一部の愛好家がコレクションとして輸入して飼っていたものが逃げ出したのが始まりだそうで、現在200～300番いるということです。しかし、もともと生息していた種ではないため保護の対象にはなっておらずその数は減少傾向をたどっているようです。以上ちょっと悲しい終わり方で申しわけありませんがオシドリに関する雑学です。



トラツグミ

トリ 鳥 西

時は平安時代、近衛天皇が病床にあった時のこと、毎夜丑の刻になると御所紫しん殿の上から不気味な声が聞こえて、天皇はその声をきくと苦しくなり病気の具合がひどくなられました。源三位頼政が闇の中から聞こえる声をめがけ矢を放ちみごとに怪物をしとめた話は、「平家物語」にも出てきます。その怪物の頭はサル、胴はタヌキ、手足はトラ、尾はヘビのようなもので伝説上のヌエがこのトラツグミとされています。夜中に「ヒョー ヒョー」「ヒー」と淋しい声を聞いたら、まだ真の闇が夜を支配していた時代にはとても怖かったことでしょうね。

昭和の後半の時代になっても自衛隊の夜警隊員が警察に通報し、パトカーが出動する騒ぎになったり、正体不明の怪しい音を録音したテープでUFO騒ぎになったりしました。ツグミの仲間では最大で、冬には平地の林内や林縁の地上でミミズを探す姿をよく見ます。おっとりした様子はそんなおどろおどろしいヌエとは大変印象が違います。



トラツグミ(ヌエの想像図)
これでは、あまり、恐くない

小田 久美子

地域情報

- ❖1/19 南生駒の竜田川でアメリカコガモを見ました。(小田)
- ❖1/20 連絡を受けてすぐ見に行ったら、1羽いました。すぐにいなくなったそうです。(勝田)
- ❖2/18 公園でコジュケイが特徴のある声(チョットコイ)で鳴いていました。
カラスの巣が近くにあり、小鳥が気がかりです。(阿部)
- ❖2/21 朝厚い氷が張っていました。竜田公園でマガモ、ヒドリガモ、カルガモ、イカル
三室山でトラツグミ、シロハラ、ルリビタキ♀、シジュウカラ等21種類を見ました。
- ❖2/23 三室山の神社の境内でクロジを見ました。積んである木に止まっていたのです。
じっとしてくれたのでゆっくり見ました。(2月の観察会の時、大神神社で見ていました。)(勝田)



行事案内



平成17年度 奈良・人と自然の会 行事予定

東海自然歩道シリーズに続く新しいプランとして、近畿自然歩道・まほろばの路
吉野・宮滝から生駒・くろんど池の120kmを14のコースに分けた観察会を決定
致しました。ご期待ください。 企画部

例.....会

	コース名	
4月	竜鎮溪谷・深谷川から室生寺	(室生村)
5月	高取山 武家街道と日本一の山城跡	(高取町)
6月	弥山・八経ヶ岳 オオヤマレンゲの群落	(一泊研修)
7月	生駒山 Ⅲ 樹林観察	
8月	夏 休み	
9月	春日山原始林 原始林の中、遊歩道を歩く	
10月	赤目四十八滝から香落谷 紅葉	
11月	当尾の里 秋色の浄瑠璃寺から岩船寺	
12月	平城宮跡から水上池 野鳥観察と忘年会	
1月	新春講演会	
2月	三峰山の樹氷	(御杖村)
3月	西吉野・津越の福寿草	

近畿自然歩道・まほろばの路

	コース名	(区 間)	距離	歩行時間
4月	吉野・宮滝から吉野神宮への路	(宮滝～吉野神宮)	7km	4.0H
5月	下市花の里を楽しむ路	(～下市口)	7km	2.3H
6月	大淀フルーツの里をたずねる路	(～西阿田)	8km	3.0H
7月	栄山寺と花の古寺を訪ねる路	(～五條)	11km	3.3H
9月	金剛山麓文化を巡る路	(～東佐味)	10km	5.0H
10月	葛城古道を歩く路	(～猿目橋)	11km	4.0H
11月	葛城山麓古代人の祈りが聞こえる路	(～兵家)	9km	3.0H
12月	當麻の里、白鳳ロマンの路	(～當麻)	5km	2.0H
1月	二上山を越える路・鈍鶴峰を訪ねる路	(～関屋)	10km	4.0H
2月	平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむ路	(～畠田)	7km	3.3H
3月	水の神様が奉られる明神山を訪ねる路	(～王寺)	8km	4.0H
4月	高安山・信貴山を巡る路	(信貴山下)	8km	3.0H
5月	矢田丘陵を越える路	(竜田川～靈山寺)	12km	6.0H
6月	くろんど池を訪ねる路	(高山～くろんど池)	6km	3.0H

【奈良忍辱山森林整備作業】

- (場 所) 奈良市忍辱山国有林 (集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分)
淀川・木津川・白砂川の源流域
- (集合場所) 忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- (日 時) 3月12日(土) 9時40分 第21回 } [9時20分にはスタッフは駐
3月25日(金) 11時30分 第22回 } 車場におります。午後3時
4月13日(水) 11時30分 第23回 } 頃終了予定]
4月29日(祝) 11時30分 第24回 }
- (天 候) 午前6時奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- (交 通) 奈良交通バス 「邑地中村行き」柳生方面
JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
- | | 8:26 | 8:29 | 9:02 |
|----------|-------|-------|-------|
| 3/12のみ臨時 | 9:00 | 9:03 | 9:30 |
| 同上 | 9:30 | 9:33 | 10:00 |
| 同上 | 10:00 | 10:03 | 10:30 |
| | 10:40 | 10:43 | 11:16 |
- (持ち物) ヘルメット[防災用]・手袋・スパッツ・鋸・防護眼鏡等<当会で多少は用意>
《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう》
モックン等木工クラフトもできます。ショウジョウバカマ等春の花も咲き始めます。
- (連絡先) 弓場厚次 阿部和生
寺田正博

* <お詫び>前号で寺田氏の名前が欠落していました。[編集部]

3月度例会 信貴山・朝護孫子寺 観察会

信貴山中腹にある朝護孫子寺は、寺の持つ雰囲気はどこことなく明るい気がします。「信ずべき山、尊ぶべき山」から信貴山と名づけられ、毘沙門天が祀ってある。1400年の歴史がある古刹です。少し早い新緑の下 大和盆地の景観も楽しめます

- 日 時 3月22日(火) 近鉄生駒線 信貴山下駅 9時40分集合
- 集合場所 信貴山下駅 改札口前
- 行 程 近鉄信貴山下駅…朝護孫子寺…信貴山城跡…烏土塚古墳…近鉄、竜田川駅
- 交 通 近鉄奈良線、難波駅:8.51…近鉄生駒駅乗り換え 9.15・信貴山下駅 9.38
JR 天王寺駅(大和路線):9.01…王寺駅乗り換え 近鉄生駒線にて信貴山下駅
- 担 当 阿部和生 携帯

第1回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】吉野・宮滝から吉野神宮への路

【日 程】4月11日(月)

4月度例会「竜鎮溪谷・深谷川から室生寺」

【日 程】4月20日(水)

* いずれも詳細は機関紙第39号に記載いたします。

協力活動「いこま棚田クラブ」3, 4月活動日ご案内

活動日：3/6(日) 3/14(月) 3/20(日) 3/28(月)

4/3(日) 4/11(月) 4/17(日) 4/25(月)

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側、ケーブル駅西隣 セブンイレブン前

集合時間：9時 現地(西畑町自治会館)までタクシーほか 分乗で移動

持ち物：弁当、飲み物(第3日曜は炊き出しあり) 作業スタイル

事務局：大寺道代

ホームページ：

平成17年2月定例幹事会報告

平成17年2月4日(金)、 奈良女性センターにて、 出席者 幹事11名

議 事 「報告事項」

- 1) 会員数…93名、
- 2) 一月例会 奈良公園観察会と講演会。 セミナーハウスにおける参加者は47名になる盛況であった。観察会の参加者も多く、マイクなどの用具を必要とする状況である。先生の専門は「コケ」。今後機会があればご専門の事や他の地区の観察会も一案である。
- 3) 奈良・忍辱山森林整備作業。 一月度二回 参加者延べ12名、事故なく作業も順調に進捗しているが3月末での1, 5haすべての作業終了は難しい。次年度の打ち合わせを今一度行い幹事会に図る。
- 4) シニア自然大学講座生 進路説明会。 川井会長、大石幹事参加し12名の方の入会希望があった。
- 5) いこま棚田クラブ。 一月十六日「トンド祭り」を村人主催で行い、およそ130名の参加者があった。31日は生駒市の資材追加提供の「猪よけ」のフェンスを施業した。

承認事項

新年度活動計画…例会・近畿自然歩道 企画案承認され 3月会報に記載する。

近畿自然歩道 第一回 吉野宮滝……下見3月29日、実施日4月11日

討議事項

- 1) 奈良・忍辱山森林整備作業。活動を始めて約一年。この間の実績を伝える活動記録(写真を含め)を作成したい。
- 2) アースデー2005INなら の参加について。 4月24日(日)実施
現段階で細目が決定しておらず来月の幹事会で 参加の方向で検討。
- 3) その他 ①黒髪山キャンプ場の来年度の活動については5月の骨子発表後に検討する。
②3月会報発送時に来年度会費の振込用紙を入れる。会費3000円とする。

編集担当： 勝田 均

Tel&Fax：

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫